

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」紫竹校			
○保護者評価実施期間	2025年11月25日 ～ 2025年12月13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年11月11日 ～ 2025年11月22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	清潔で十分な広さの支援スペースが提供できること。	毎朝清掃をして、お子さんや保護者様に気持ちよく利用していただけるよう配慮しております。 また、パーティションで空間を仕切るなどして、お子さん一人ひとりにとってわかりやすい且つ十分なスペースが確保できるようにしています。	今後も継続して、整理整頓や清掃を徹底し教室の美化を心がけていきます。 支援スペースに関しては、それぞれのお子さんの特性に併せて、集中しやすい環境を設定してまいります。
2	職員間の情報共有が密に行われており、チームでお子さんの支援にあたれていること。	支援毎に、次に支援に入る指導員に丁寧な引き継ぎを行っております。 また、複数人で一人のお子さんの支援にあたることで、プログラムを固定させず、多角的な支援を提供できるようにしております。	引き続き、職員間の情報共有を密に行ってまいります。また、支援後にはできるだけ時間を開けずにタイムリーな共有を心がけます。 プログラムに関しては、常によりよい支援を提供できるよう、職員一同で研鑽を積んでまいります。
3	毎支援の保護者様とのフィードバックを大切に、お子さんの様子について共通認識が図れていること。	毎支援後に、保護者様とフィードバックの時間を設けています。その中では、その日の課題内容についてだけではなく、直近の学校や家庭での様子についても伺い、常に変化するお子さんの状況を把握した上で課題の設定を行えるようにしています。	自力通所やご両親の送迎でない場合は、引き続きLINE等を活用しながら、お子さんの様子を詳しくお伝えできるよう努めます。 また、普段保護者の方の付き添いがないお子さんち、定期的に見学をしていただけるようご案内していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者がまだ少なく、小集団での療育が十分に行えていないこと。	開校から徐々に利用者が増えてきましたが、まだ小集団療育を行うには人数やニーズの違いの問題から難しい面があります。 また、閉校日の月曜日が祝日にあたることが多く、日程の確保からも難しい面がありました。	小集団の活動に対するニーズを吸い上げ、必要に応じて開催を検討してまいります。 また、来年度から月曜日も開校する見込みとなっておりますので、祝日のイベント開催も積極的に行ってまいります。
2	家族支援の周知及び提供が不十分であること。	家族支援は随時受け付けておりますが、そちらの周知が保護者の方に十分にいきわたっていない状況がありました。 また、開校してこれまで保護者会のような形での家族支援を検討しているものの実現まで至りませんでした。	保護者の方のお悩みやご相談にタイムリーに対応できるよう、日ごろから家族支援を行える体制を整えてまいります。 また、来年度は保護者会の実施が実現できるよう、教室内で企画運営を進めていきます。
3	専門職の配置がされていないこと。	保育士資格をもつ職員が充実しており、特に児童発達支援のお子さまに関しては高い専門性をもって支援にあたれておりますが、言語聴覚士・理学療法士・作業療法士の配置は現時点ではされていないため、お子さんの状況によっては専門的な視点が不足する場合があります。	県内、また法人内のきらりには専門職が多数在籍しているため、必要に応じて専門的なアドバイスを求めながら支援に取り入れています。 専門職の配置についても検討してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

		公表日		2026年2月14日	
事業所名		こどもサポート教室「きらり」紫竹校		利用児童数	8
				回収数：	8

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	0	人員が1人補充されたので、充実していると思います。	引き続き、適切な職員数を配置してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	0	パーテーションで区切られ、学校のように机と椅子が配置されており、わかりやすいです。	パーテーションなどを活用し、お子さんにとってわかりやすい且つ集中しやすい環境設定を心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0	遊ぶところと、学ぶところが明確です。	引き続き、清潔を保ちつつ活動に合わせた空間を提供できるように努めます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0	こちらに通い出してから、我が子の苦手が明確になり、対策がたてやすくなりました。	お子さんのアセスメントを丁寧にとり、専門性の高い支援を提供できるよう努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0	先生の的確な声掛けと安心できる空間作りがとても助かっております。	今後もお子さんのことを十分に理解し、ニーズに沿った個別支援計画を作成してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0	質問も相談もしやすいです。	気軽に相談していただけるよう日頃から保護者の方とのコミュニケーションを密にしています。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	0	個人的に好きな物などを取り入れて頂いているので子どもが興味を示して勉強できるように工夫されていてとても楽しく学んでいると思います。	お子さんの「好き」を支援の中に取り入れることで、無理なく楽しく学べる機会を提供しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	0	1	園に見学に来て、先生と話し合っていました。	事業所外のお子さんと一緒に活動する機会はありませんが、ご利用されているお子さんの通う園に定期的に訪問しています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	0	4	あるのは分かっていますが、参加したことはまだありません。	今後、ご家族の方が参加できる研修会などの企画も検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	1	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	0	4	まだ支援を始めてから間もないので、参加したことはありません。	開所してからまだ保護者会の開催はありません。今後、きらりカフェなど保護者の方同士の交流が図れるイベントも検討してまいります。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	1		各種マニュアルを漏れなく作成した上で、発生を想定した訓練を実施しております。保護者様にわかりやすく周知できるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	1		毎月様々な非常事態を想定した避難訓練を実施しております。内容については教室内に掲示しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		安全計画を作成し、安全の確保を十分に行った上で支援を提供しております。引き続き、怪我や事故のないよう細心の注意を払っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0	きらりに来ることを分かって楽しみにしている	ありがとうございます。今後も、安心感をもって通所できる事業所を目指して尽力してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0	ありがたいほどに、とても楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も、きらりがお子さんの楽しみであり続けられるよう尽力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0	先生方がとても温かく迎えてくださり、毎回楽しみに通所しています。通所の日は園への行き渋りもなく助かっております。ありがとうございます。子ども2人の特性を丁寧にみていただきながら、他のところとはまた違った色々なやり方で刺激を与えてくださり、ありがたく感謝しております。	ありがとうございます。今後も、お子さんにも保護者様にも満足感をもって通っていただけるよう、いただいたご意見をもとに職員一同取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」紫竹校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員に対して過不足ないスペースが用意されている。 要望に合わせて個室を使い分けている点が工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる人数を配置している。	フィードバックを定時に終わらせるなど、手が空く指導員を増やす工夫が必要。 一人ひとりの負担は大きいように感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		色名称やパーテーションを用いて支援スペースが区別できている。 支援スペースはできる限り刺激が少ない環境を整えている。 (階段は除く)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除で清潔な環境に気を付けている。 毎朝清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別の部屋を使用できるよう工夫している。 パーテーションを活用して、個別のスペースを作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		週に1回程度、ミーティングを実施している。 定期的な事業所内のミーティングで、業務改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご家族の皆さまの要望、意向を確認し、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週に1回程度、ミーティングを実施している。 朝礼・事業所内ミーティング・社内連絡ツールを活用して、機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は、利用者様・社内の二者評価を行っている。	第三者による外部評価は必要に応じて検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な社内研修や地域の研修の案内など機会は確保されている。 毎月定期的に研修が用意されている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPに公表されている。 個別支援計画を職員内で必ず共有し、保護者への説明も必ず行い公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		指導員・管理者を含め、全体で情報を共有しながら作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員が全員そろっている中で、計画作成会議が行われている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成会議で必ず共有し、計画の確認を必ずしている。 計画の作成に対し、職員全員が意見を通わせることができている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントシートを使用し、お子さまの現状を都度確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援・家族支援・移行支援について個別支援計画に明記し、お子さまのアセスメントや支援時のフィードバックの際にご家族の皆さまからニーズをお聞きしたものをもとに支援内容の設定を行っている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		適宜ケース会議を行っている。 担当が変わるため、支援の引き継ぎの際にプログラムの検討を行っている。 ほとんど毎回の支援に対し、前回担当者とは次回担当者とは情報共有・相談をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		指導員が固定化しないよう、複数の指導員が交代でお子さんを見ている。 担当を固定化しないためプログラムも固定しづらくなっている。 他指導員の支援内容を参考にしつつ、利用児のレベルに合わせて課題を考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			利用者がまだ少なく、集団活動はあまりできていない。 不定期で少人数のイベントは開催。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝打ち合わせをしている。 使用ブースの確認、支援予定の確認を通じて、入れ替わりをスムーズにするために連携している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		指導員が全員出払っていることも多く、なかなか振り返りの時間が持てていないことが現状。情報共有は随時している。 その日ではなく、後日引き継ぎの際に振り返り等の情報共有をしている。 業務量の多さもあり、毎支援後全職員で共有する時間が確保できない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を取り、見直すことでお子さまの成長や取り巻く環境の変化に合わせて支援内容や方法を共有している。	
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に個別支援計画の見直しについての面談の時間を設けている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に利用児をよく知っている職員が参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		園訪問や相談員とのやりとりの機会を活かし、利用者の情報を共有できている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		定期的に園訪問を行い、先生方と情報共有をすることで、お子さんへの理解を深めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援情報提供書を作成している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとの連携の機会を設け、研修の参加も積極的に行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在交流の機会は設けていない。今後ご希望があれば検討していく。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎支援後、支援の様子に加えて利用児の近況を聞いている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		教室内に研修等のチラシを掲示している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約前面談やモニタリング等を通じて、ご家族の皆さまの要望をお聞きした上で個別支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者への計画内容の説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後、保護者会やきょうだいで参加可のイベントを開催予定。 今後、きょうだいで同じ課題に取り組めるケースが出てきた場合は交流も可能か。 日頃の通常業務が多く、保護者同士の関係を深めるためのイベントはまだ開催が難しい状況にある。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		すぐに指導員間、管理者へ報告し、全体で相談する機会を設けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPとInstagramを活用している。	SNSで月に1～2回程度更新しているが、児童発達支援へ向けた更新内容を考え、もっと力を入れていきたい。事業所内でも話す。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関わるものは、鍵付き書庫に保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭でのやり取りだけでなく、個々に合ったコミュニケーションの方法を検討している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民の招待等は十分に行えていない。今後希望があれば検討していく。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、研修を実施している。また、毎月避難訓練を実施している。実施報告については玄関に掲示している。	実際の訓練を定期的に行えるとうよい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、必要物品の準備を行っている。また、毎月避難訓練を実施し、非常災害の発生に備えている。	計画の策定はできている。定期的な訓練の実施が不十分。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約前の面談時と1年に1回必ずお子さまの状況や服薬・持病等について確認している。また、フィードバック時などにも適宜確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事提供なし。 飲食物の提供は行っておらず、利用者間の飲食物の受け渡しも行われていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、研修・訓練を実施している。また、事業所内で安全に過ごせるよう環境を整えている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全確保のために事故や災害発生時の対応について共有するとともに緊急連絡先を控えるなどして対応している。	周知の仕方を検討したい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットだけでなく、事前に予測される危険な点は職員会で相談している。	

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		必ず研修に参加できるよう機会が確保されている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		研修を実施し、事業所全体で共通認識・理解を図っている。ご家族の皆さまへは契約時に丁寧な説明を行い、利用契約書・個別支援計画にも記載している。	